



落三小 だより

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai3/>

平成29年11月30日

12月号（第363号）

新宿区立落合第三小学校



「みんなが主役」であるために

副校長 井口 美由紀



冬紅葉 冬のひかりを あつめけり

久保田万太郎

校庭の木々の葉も散り始め、学校では児童による落ち葉拾いの活動が始まりました。お花屋さんの店先にはシクラメンやポインセチアが色鮮やかに並ぶなど、本格的な「冬の訪れ」が感じられる今日この頃です。

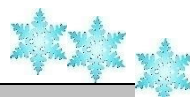
11月10日（金）11日（土）に学芸会を開催しました。今年のテーマは『みんなが主役だ！最高の演技 最後まで』。台本が配られ、自分が演じたい役を決めて、精いっぱい努力をして臨んだオーディション。その後、役が決まって、体育館での練習期間を経て、学年全員で一つの劇を作り上げました。

本番を迎えるまでは、練習の過程で、「こんな動きはどうか。」「もっと前にでたほうがいいよ。」などと、児童同士が話す場面もたくさん見られました。それぞれが役になりきり、自分の役割を果たし、高学年では照明や音響なども自分たちで場面ごとに交代して行い、まさに「みんなが主役」の舞台だったと思います。学芸会終了後の保護者の方からのアンケートでは、たくさんのご感想やご意見をいただき、ありがとうございました。これからも、こうした行事での経験を生かしながら、教育活動を充実させていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、12月10日は世界人権宣言が採択された日ですが、この日を「人権デー」と定め、毎年4日から10日の期間は「人権週間」として、全国で、人権を考える取り組みが行われます。相手の気持ちについて考え、気付いたら「すぐに」「その場で」「素直に」「やさしく」言ったり聞いたりすることが大切です。また、思いやりの心をもって接することも重要です。子どもたちの日頃の様子の中では、「自分がされたいいやなことは、相手もいやなことである」ということに思いが及ばない場面も多くみられます。子どもたちにとって、『きまり』を学ぶ最小の社会は家庭です。家庭のできごとは、子どもの人間関係、人格形成に深い影響を及ぼします。師走を迎え、せわしい折りですが、ぜひ、お子さんとの団らんの中で、「相手の気持ちになって話を聞く」ことを通して、1年間を振り返り、絆を深めてはいかがでしょうか。



平成29年度 12月 行事等の予定



1	金	◎	16	土	
2	土	ミニオリンピック（落三PTA主催）	17	日	避難所・医療救護所設営訓練
3	日	もちつき大会（西落合町会主催）	18	月	まなび面談始
4	月	安全指導 ◎	19	火	クラブ活動⑨ ◇
5	火	午前授業（4年1組は研究授業のため5時間）◇ 「のビルてん」（エコギャラリー新宿）始	20	水	落ち葉拾い終
			21	木	給食終 社会科見学（5年）
6	水	B4	22	金	B4 まなび面談終 ◎
7	木	避難訓練	23	土	天皇誕生日
8	金	B 保護者会 14:00～15:00（123年） 15:15～16:15（456年） ◎	24	日	
9	土		25	月	B4 終業式 ◎
10	日	サロンサッカー大会（落合第二中）	26	火	冬季休業日始
11	月	「のビルてん」（エコギャラリー新宿）終	27	水	
12	火	◇	28	木	
13	水	C 落三ギネス	29	金	年末年始のため学校には入れません。（～1月3日）
14	木		30	土	
15	金	まなび終 ◎	31	日	

SC 川内先生 勤務日（10：15～17：00）…◎

SC 河西先生 勤務日（10：15～17：00）…◇

人間生活に大切なもの ～「気持ちのよいあいさつ」と「礼儀正しさ」～

主幹教諭（生活指導主任） 三浦 茂樹

落三小の生活指導の年間目標は、「すすんであいさつのできる子」です。毎学期始めの2週間をあいさつ週間として、4～6年の子どもたちが、校門で、気持ちを込めてあいさつを呼び掛けています。

あいさつには、暗い気持ちを吹き飛ばす力があります。一度や二度ではなく、あいさつを続けていくことで気持ちが前向きで明るくなっていきます。また、あいさつには、笑顔をつくる力もあります。あいさつをすると自然と笑顔が増えていきます。普通に生活していると、自然と笑顔になる機会は少ないものです。あいさつは、自然と笑顔になる機会となり、気持ちも上向くととてもよい言葉なのです。

加えて、あいさつと同様に礼儀正しさも生活において大切なものの一つであると思います。相手に応じた言葉遣いで話ができることや、相手を認め、敬う気持ちをもって行動することができる子どもたちに育てていきたいと思います。落三小の子どもたちが社会に出て活動するときに、堂々と胸を張って活躍できるように私たち教職員一同、学校全体で指導していきたいと思います。

「いつでも、どこでも、だれにでも、すすんであいさつのできる子ども」や「礼儀正しい子ども」を育てるには、学校、家庭、地域が力を合わせていくことが大事です。子どもたちの周りにいる大人がまず、手本を示していきたいものです。学校でも更に指導を進めてまいりますので、ぜひ、ご家庭・地域でもご指導・ご協力をお願いいたします。



2年生の窓「がんばったよ はじめての学芸会」（作文からの抜粋）

2年担任 金谷陽子 東良枝

- ★わたしは、学芸会をして二つ分かったことがあります。一つは、合同で何かをすると、とても楽しいということですよ。もう一つは、みんなで力を合わせてれんしゅうすれば、大せいこうするということです。わたしは、さいしょ、注意されてばかりでした。でも、うまい人のまねを少ししたら、「前よりうまいね。」と友だちに言われました。その後も、友だちが「この場めん、こうした方がいいよと思うよ。」とアドバイスしてくれました。その時とてもうれしかったです。友だちは、「ここがうまかったよ。」などとかんそうも言ってくれました。
- ★ぼくは、「きゅう食ばん長」のげきをやって、げきが大きくなりました。4年生になった時は、もっとじょうずになりたいです。
- ★ぼくは、「きゅう食ばん長」でうしのやくをがんばりました。うしやくは、せりふは少ないけど、どうさを考えるのがとてもむずかしかったです。（略）でも、れんしゅうをたくさんしたので、うまくなりました。
- ★せりふをゆっくり言わないとおきゃくさんが聞きとれないので、ゆっくり言うように気をつけました。声を小さくするとおきゃくさんに声がとどかないので、口を大きくあけて声を大きくするのをがんばりました。わたしは、「きゅう食ばん長」をやって、「自しん」や「ゆう気を出す力」がつかしました。
- ★学芸会をして、「じぶんの力を出すとこんなに気持ちがいいんだ。」というこを知りました。新しいはっけんができてよかったです。
- ★おわたあと、すごくすっきりしました。これまでたくさんれんしゅうしたかいがありました。
- ★みんなで気持ちを一つにできたのでたのしかったです。おきゃくさんもわらってくれたので、うれしいです。
- ★気持ちをこめてせりふを言えました。せりふがないところでもえんぎができてよかったです。さいごに見ていた人たちが大きなはくしゅをしてくれてうれしかったです。
- ★さいごのうたの時に笑顔でうたうことができました。友だちにも「じょうず。」と言われてうれしかったです。たのしんでできました。
- ★ドキドキしたけれど、はくしゅをもらえてすっきりしました。さいごに大せいこうのはたを立てられてよかったです。

【お知らせ】

図画工作科担当の小田 麻子 教諭が、12月7日より、妊娠出産休暇に入ります。後任には、富岡 真美（とみおか まみ）教諭が着任いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。